

工事監理報告書 (構造関係)

年 月 日

あて

代表となる 事務所名 級建築士事務所 () 登録第 号
 工事監理者 所在地 TEL
 資格・氏名 級建築士 (大臣・知事) 第 号
 工事施工者 施工者名 建設業許可 (特定・一般) 第 号
 所在地 TEL
 氏名
 建築主 住所 TEL
 氏名

下記の建築物は建築基準法並びに、これに基づく政令及び条例の規定に適合した施工を行い、構造耐力上安全であることを確認しましたので報告します。

工 事 名												
建 築 場 所												
確認年月日番号		年 月 日 第 号			構造計算		ルートⅠ-(), ルートⅡ-1・2・3、ルートⅢ、その他					
工 事 概 要		構 造 種 別		S・RC・SRC・			工 事 種 別		新 築・増 築・			
		階 数		地上 階・地下 階・PH 階			最 高 の 高 さ		m	軒 の 高 さ	m	
		建 築 面 積		m ²			延 べ 面 積		m ²			
確認通知後の設計変更 (有・無)		年 月 日 第 号		内容1.	年 月 日 第 号	2.	年 月 日 第 号	3.				
コ ン ク リ ー ト	基 礎	Fc: 18、21、24、27、			N/mm ²		支持地盤			支持力 KN/m ²		
	~	Fc: 18、21、24、27、			N/mm ²		直接基礎	独立、連続、べた		液状化対策 (有・無)		
	~	Fc: 18、21、24、27、			N/mm ²		杭 基 礎	・打ち込み杭 ・埋め込み杭(セメントミルク) RC、PHC(A.B.C)、鋼管 ・場所打ちコンクリート杭(拡頭、拡底、鋼管巻、 アースドリル、リパース、オールケーシング、BH、深 礎) ・異形摩擦杭 認定 ・評定工法() 認定 ・評定 年 月 日 第 号				
	~	Fc: 18、21、24、27、			N/mm ²							
	軽 量	LFC: 15、18、21、			N/mm ² . 比重							
PCa.	Fc: N/mm ²		杭	Fc: N/mm ²								
鋼 材	鉄筋	SR. 235、295 SD. 295(A.B)、345、390			ガス圧接 有・無 (D ~ 特殊継手 有・無		特殊材料・構法等 大臣認定 年 月 日 第 号 (認定内容) 建築センター評定 年 月 日 BCJ- (評定内容) 建築センター評価 年 月 日 BCJ- (評価内容)					
	形鋼	SS. 400、490 SM. 400(A.B)、490(A.B)、 SN. 400(A.B.C)、490(B.C)、			工場溶接 有・無							
	鋼板	STKR. 400、490. BCR295、BCP ()			現場溶接 有・無		建築工事施工計画報告書及び結果報告書					
	鋼線 鋼棒				導入時コンクリート強度 Fc: N/mm ²		計 画 報 告 書 年 月 日 第 号 結 果 報 告 書 年 月 日 第 号					

記入上の注意 ◎ 提出及び記入は、原則として工事監理者によること。
 ※1監理者総合所見の欄は、監理目標とその結果に対する所見を具体的に記入すること。
 ※2工事監理組織の欄は、工事の監理体制を具体的に記入すること。
 ※3指摘事項と是正内容の欄は、工事監理者が検査を行い、指摘した事項とその是正内容を記入すること。
 そ の 他 ● 施工写真、施工記録、データ(ミルシート、各種試験結果等)を添付すること。
 ● 鉄骨工事をともなう場合は鉄骨工事報告書を添付すること。

